

2018 年度

## エコアクション21 環境経営活動レポート



活動期間

平成 30 年 (2018 年) 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 (2019 年) 3 月 31 日

エコアクション 21 登録・認証番号 0000088

発行日 2019 年 04 月 10 日

初回認証日 2004 年 12 月 22 日

更新日 2018 年 12 月 22 日

株式会社アラオ

2019 年 4 月 10 日

## 目次

1. ご挨拶.....	2
2. 環境経営方針.....	3
3. 組織概要.....	4
4. 環境経営システムの運営体制.....	5
5. 環境目標と実績.....	6
5.1 環境負荷の実績推移.....	7
5.2 3年環境経営目標.....	10
6. 環境負荷の詳細.....	11
6.1 本年度環境活動計画と評価.....	11
6.2 次年（2019年度）環境活動計画.....	12
7. 環境活動記録.....	13
7.1 近隣清掃活動.....	13
7.2 廃油流出事故訓練.....	13
7.3 設計開発部 メカ設計課活動記録.....	14
7.4 設計開発部 電気・ソフト課活動記録.....	16
7.5 設備技術部 組立課活動記録.....	17
7.6 製造部 製造課活動記録.....	19
7.7 製造部 生産管理課活動記録.....	21
7.8 営業部 営業課活動記録.....	23
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果.....	24
9. 代表者による全体評価と来年への展望.....	26
9.1 取り組みへの評価.....	26
9.2 2019年度への展望.....	26

## 1. ご挨拶

株式会社アラオは、半導体製造装置を設計・製造する、エネルギー少消費型会社です。

地球環境の保全のために、2004年にエコアクション21を取得し、地球環境への負荷を少なくする事を心がけてまいりました。2015年には「EA21 認証・登録制度 10周年記念式典」にて長年のエコアクション活動に対して感謝状をいただきました。さらなる環境への取り組みを目指して、2018年度の環境活動レポートを発表いたします。



## 社是

顧客が満足する

T 技術、Q 品質、C コスト、D 納期 を提供する

## 企業理念

お客様を大切にし、お客様から期待される会社でありたい。

従業員を大切にし、従業員の夢をかなえる会社でありたい。

人を大切にし、品位ある会社でありたい。

衆知を結集し、「変化の時代」に対応できる会社でありたい。

2019年04月10日

株式会社アラオ

代表取締役社長 荒尾 淳

## 2. 環境経営方針

# 環境経営方針

### 株式会社アラオ 環境経営宣言


・私たちは省力機器の設計製作および金属機械加工事業を通じ、顧客が満足する技術 (Technology)、品質(Quality)、コスト(Cost)、納期(Delivery Date)を提供することを目指します。

### 株式会社アラオ 環境経営行動方針

- (1) 私たちは顧客要求の変化への対応として、省エネ製品、IoT、ロボットなどを使用した独自製品の開発を推し進めます。
- (2) 私たちは予算を認識し、効率的な業務遂行で適正利潤を継続確保します。
- (3) 私たちはミスを低減し、経営資源を100%有効活用します。
- (4) 私たちは機器の設計工程・部品の製作工程および営業活動を見直して、省資源化を実現し、環境にやさしい製品の提供に努めます。
- (5) 私たちは環境との共生・調和、環境への取り組みを最重要課題として認識し、全社一丸となって事業活動に取り組み、環境負荷を継続的に削減していきます。
- (6) 私たちは環境関連法令・規則・協定およびお客様の要求事項を遵守します。
- (7) 私たちは環境経営活動レポートを公表し、地域で環境活動を実施するなど、地域との環境コミュニケーションに積極的に取り組みます。
- (8) この環境経営方針を文書で全従業員及び関係者に周知するとともに社外にも開示します。

制定 : 平成30年4月1日

株式会社 アラオ 代表取締役社長

荒尾 淳 

### 3. 組織概要

- 事業所名 および 代表者名  
株式会社アラオ  
代表取締役社長 荒尾 淳

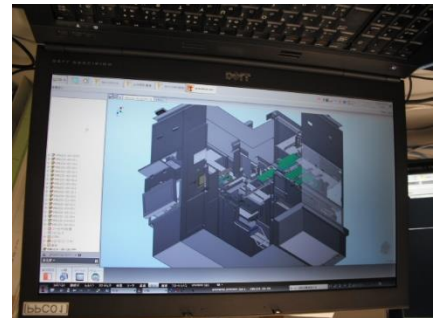


- 所在地  
〒861-4144 熊本県熊本市南区富合町釈迦堂388

- 事業の概要
  - ◆ 半導体関連省力機械の設計・製作・改造・保守
  - ◆ 各種省力機器の設計製作
  - ◆ 省力機器制御ソフトウェア開発
  - ◆ 金属機械加工
  - ◆ 板金、溶接加工



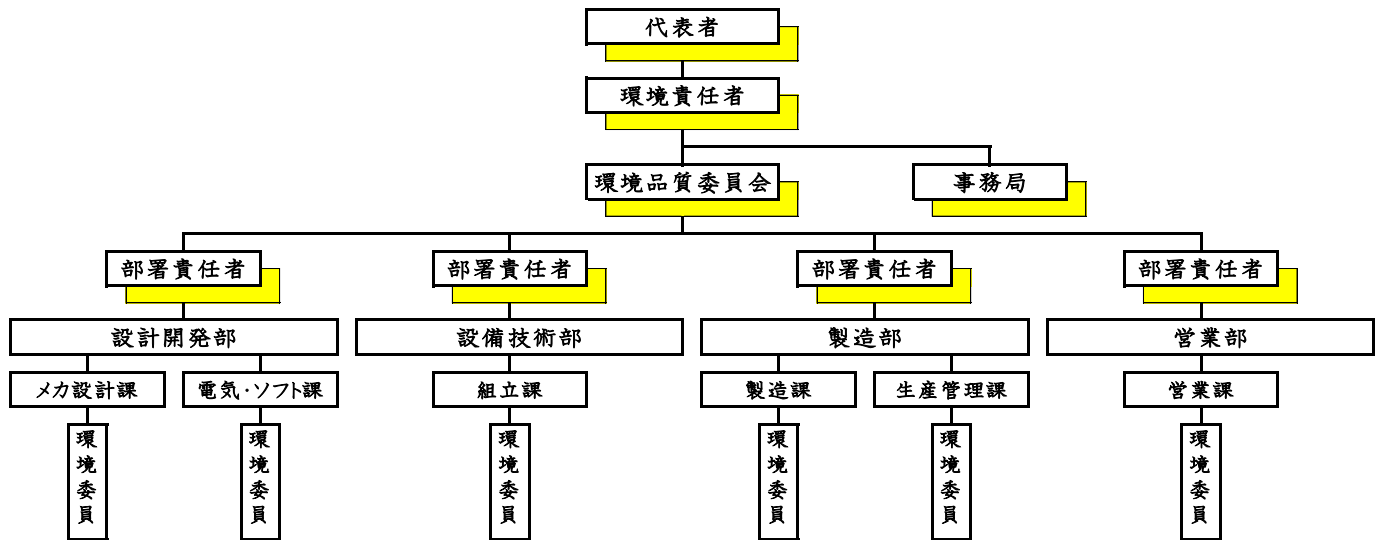
- 事業の規模 (2018年)
  - ◆ 年間売上高 11.2 億円
  - ◆ 従業員数 45 人
  - ◆ 床面積 2,068 m<sup>2</sup>
  - ◆ 敷地面積 6,604 m<sup>2</sup>



- 環境管理責任者氏名 および 担当者連絡先
  - ◆ 代表責任者 代表取締役社長 荒尾 淳
  - ◆ 環境管理責任者 設計開発部 部長 永野 久徳
  - ◆ 環境担当者 EA21 推進事務局 船津 誠司
  - ◆ 連絡先
    - 電話 096-358-7010
    - FAX 096-358-8045
    - URL <http://www.araotech.jp/>
    - e-mail [arao@araotech.co.jp](mailto:arao@araotech.co.jp)



#### 4. 環境経営システムの運営体制



- ◆ 代表者
  - 1 環境責任者をはじめ必要な責任者の任命
  - 2 EA21 の構築、運用、維持に必要な経営資源の準備
  - 3 環境経営方針の制定
  - 4 EA21 全体の見直しを行い、必要に応じて改定を指示
- ◆ 環境責任者
  - 1 経営資源の合理化、効果的な運用を図り、環境品質委員会を運営する。
- ◆ 環境品質委員会
  - 1 環境責任者主催で月 1 回開催
- ◆ 事務局
  - 1 環境責任者の補佐
  - 2 EA21 に関する実務全般
- ◆ 部署責任者
  - 1 各部署内の環境活動の指導および実行責任
- ◆ 設計開発部・設備技術部・製造部・営業部 環境委員
  - 1 各部署内における環境活動実行委員

## 5. 環境目標と実績

項目	入力年	2018		2018年度			排出係数=九州電力(2016年度) 0.483kg-CO <sub>2</sub> /kWh		
	西暦 平成	2017年度 29年	2018年度 30年	実績値	目標値	実績値	達成率	評価	
管理実施項目	単位	実績値	目標値	実績値	達成率	評価	基準年比較		
						(目標/実績)	削減率	評価	
二酸化炭素排出量	トン	186.013	173.020	140.079	123.52%	○	75.31%	○	
	売上当り(kg/百万円)	209.00	237.01	129.34	183.25%	○	61.88%	○	
使用電力量	Mwh	282.30	276.35	224.28	123.22%	○	79.45%	○	
	売上当り(kWh/百万円)	317.19	378.56	207.09	182.80%	○	65.29%	○	
	料金(円)			¥4,401,517					
ガソリン消費量	L	5,583.38	5,650.00	4,099.26	137.83%	○	73.42%	○	
	売上当り(L/百万円)	6.27	7.74	3.79	204.22%	○	60.41%	○	
	料金(円)			¥569,742					
灯油消費量	L	0.00	58.20	0.00	0.00%	○	0.00%	○	
	売上当り(L/百万円)	0.00	0.06	0.00	0.00%	○	0.00%	○	
	料金(円)			¥0					
一般廃棄物 (塵芥のみ)	Kg	432	462	359	128.61%	○	83.10%	○	
	売上当り(kg/百万円)	0.49	0.63	0.33	190.91%	○	67.99%	○	
	料金(円)			¥138,705					
産業廃棄物 (廃油・液・プラ)	Kg	5,735	3,378	1,840	183.56%	○	32.08%	○	
	売上当り(kg/百万円)	6.44	4.63	1.70	272.35%	○	26.38%	○	
	料金(円)			¥300,845					
紙使用量	A4枚数	82,000	95,040	54,100	175.67%	○	65.98%	○	
	売上当り(枚/百万円)	92.13	130.19	49.95	260.64%	○	54.21%	○	
水使用量	立方米	511	507	498	101.81%	○	97.46%	△	
	従業員当り(m <sup>3</sup> /人)	12.46	11.52	11.07	104.07%	○	88.82%	○	
				¥66,530					
売上高	百万円	890	730	1,083	148.36%	○	121.69%	○	
	従業員当り(百万円/人)	21.71	16.59	24.07	145.09%	○	110.88%	○	
社員数	人	41	44	45	102.27%	○	109.76%	○	
		基準年		2018年・環境実績総合評価					

評価基準(%)

0-89	90-99	100-
○	△	×

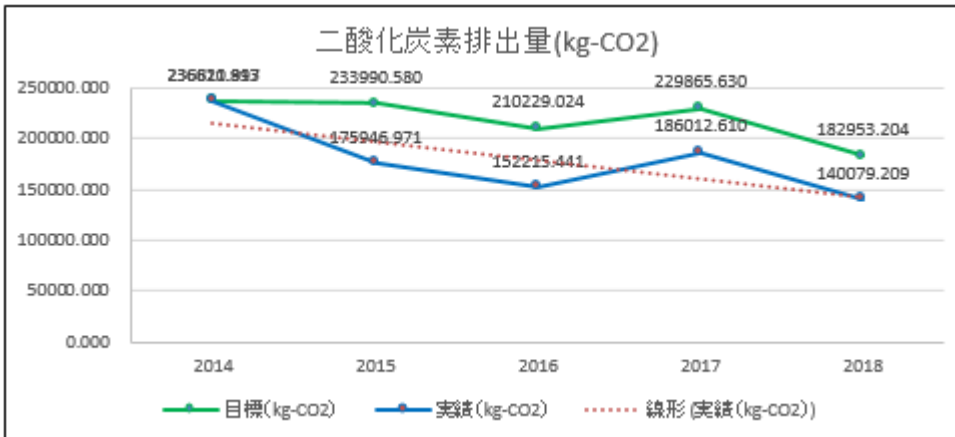
※1 100%以上="○"

2018年度は売上高が過去最高となり、基準年(2017年度)に比較すると20%以上の伸びを示しています。それに反して、二酸化炭素排出量は基準年の75%にとどまっております。数々の省エネ対策が功を奏している模様です。中でも電気使用量の削減量が大きく貢献しています。工場のアコンほぼ全てを省エネタイプに交換した成果が見て取れます。

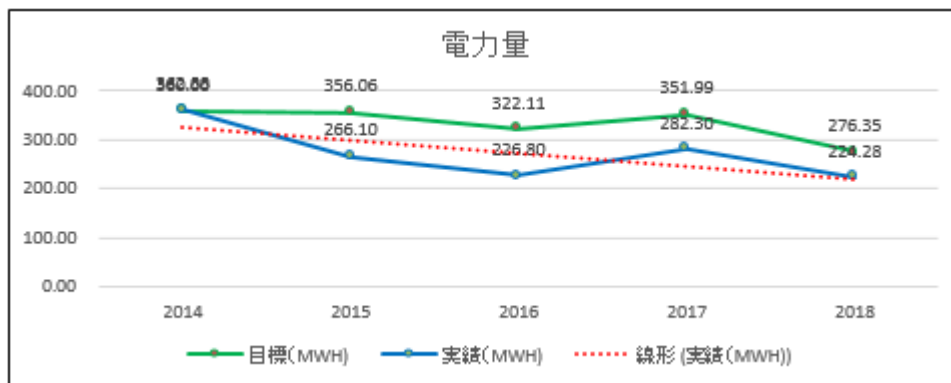
ガソリン消費量、産廃、水使用量のいずれも基準年を下回っており、効率のよい活動ができていると思われます。

## 5. 1 環境負荷の実績推移

それぞれの項目の目標と実績値の過去5年分のデータです。



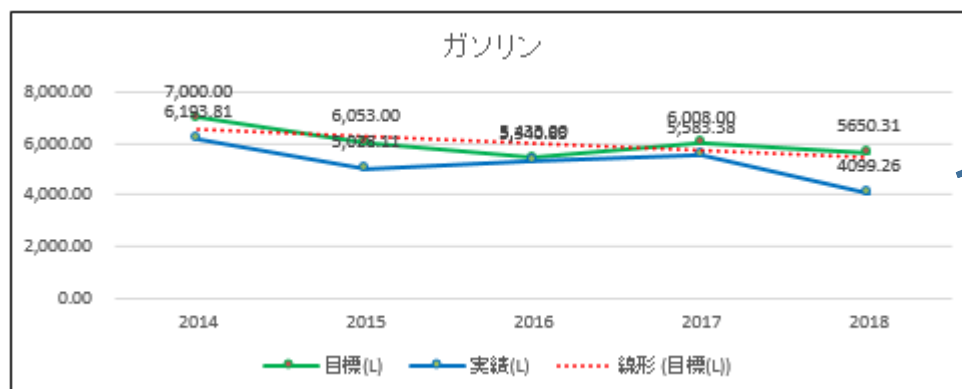
123%達成!



124%達成!

### 取り組み内容

- ・工場や事務所内の蛍光灯を全てLED化
- ・省エネエアコンへの切替え
- ・3か月に一度、エアコンの簡易点検実施

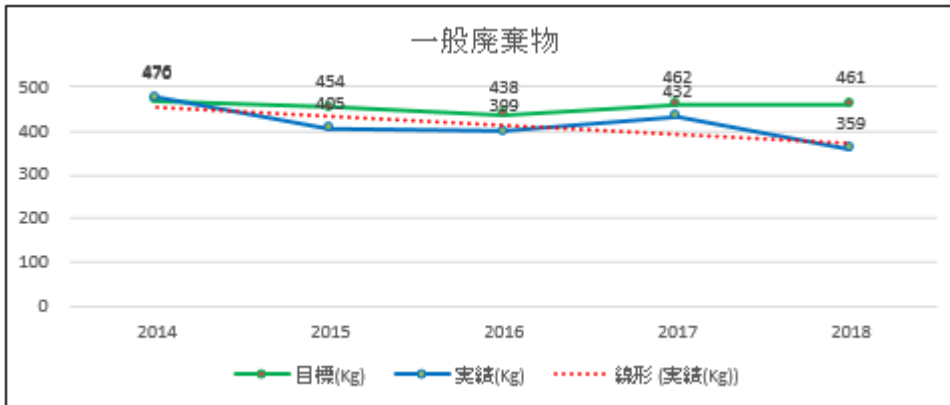


107%達成!

### 取り組み内容

- ・運転記録簿による燃費計測
- ・社用車を低燃費車へ入替え

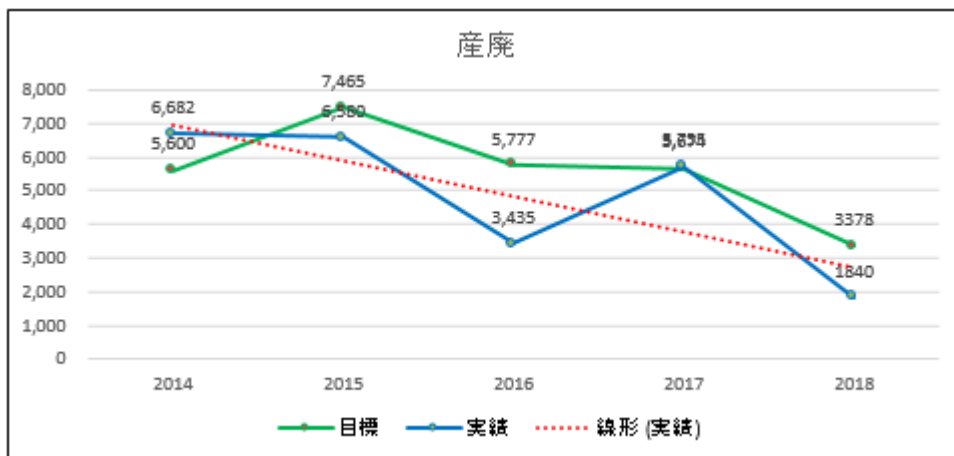




106%達成!

#### 取り組み内容

- ・ごみの分別徹底
- ・書類や紙の省力化・リサイクル利用推進

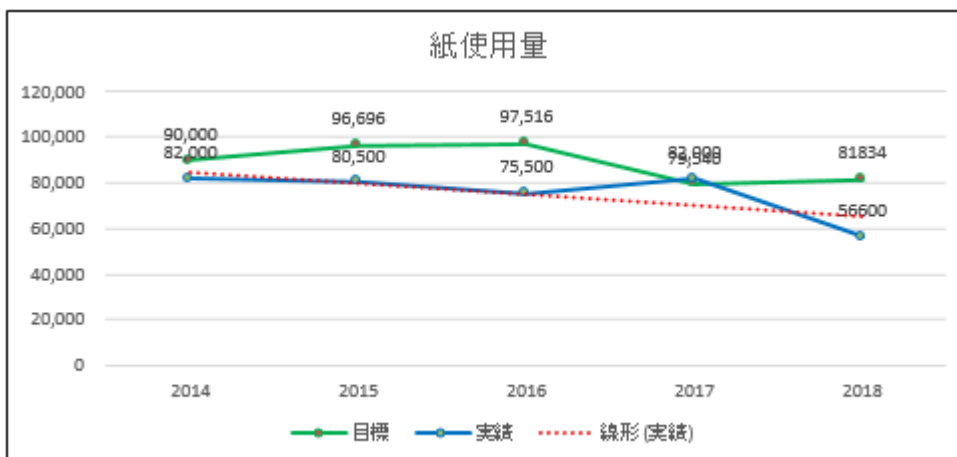


98%未達成!

#### 取り組み内容

- ・工程内不良削減
- ・再資源化

※過去最大売上により生産量が拡大し、廃棄物が増加してしまいました。

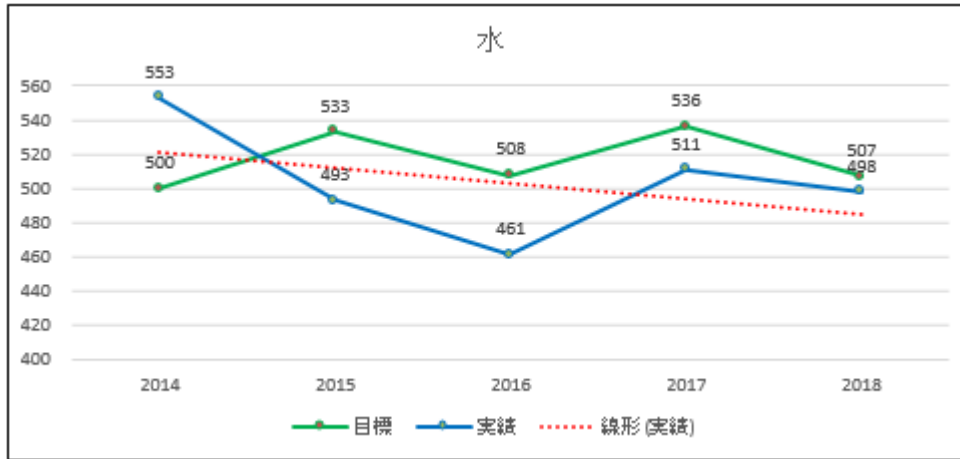


97%未達成!

### 取り組み内容

- ・ペーパーレス化推進
- ・両面印刷／集約機能の活用

※過去最大売上により生産量が拡大し、紙使用量が増加してしまいました。



104%達成！

### 取り組み内容

- ・洗浄作業を貯水して行う
- ・実用に耐えられる程度に元栓を絞る

産廃と紙使用量のみ目標未達成となりました。今後は不要物を発生させない工夫と、より効率的な業務改善を行うことで環境負荷軽減を目指していきます。

## 5. 2 3年環境経営目標

環境経営方針		実行内容	目標値		
			2018	2019	2020
製品開発	(1)私たちは顧客要求の変化への対応として、省エネ製品、IoT、ロボットなどを使用した独自製品の開発を推し進めます。	「新製品開発プロジェクト」にて新製品開発を推進し、全社一丸となって毎年1件以上の製品を市場に送り出します。	1件以上	1件以上	1件以上
経常利益	(2)私たちは予算を認識し、効率的な業務遂行で適正利潤を継続確保します。	営業、設計、加工、組立それぞれの工程での業務での効率化を図り、高利潤体制を構築します。	5.0%以上	7.5%以上	10%以上
不良率	(3)私たちはミスを低減し、経営資源を100%有効活用します。	設計、加工それぞれの工程での不良品を徹底的に削減します。	設計 4.0% 以下	設計 3.9% 以下	設計 3.8% 以下
			製造 0.6% 以下	製造 0.59% 以下	製造 0.57% 以下
省資源化	(4)私たちは機器の設計工程・部品の製作工程および営業活動を見直して、省資源化を実現し、環境にやさしい製品の提供に努めます。	総売り上げに占める、設計・部品製作・営業活動の工数削減を行います。	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減
環境負荷	(5)私たちは環境との共生・調和、環境への取り組みを最重要課題として認識し、全社一丸となって事業活動に取り組み、環境負荷を継続的に削減していきます。	紙、ゴミ、電気、水などの環境負荷を減らし、CO2排出量削減に努めます。	1.0% 削減	2.0% 削減	3.0% 削減
法令・規則・客先要求等	(6)私たちは環境関連法令・規則・協定およびお客様の要求事項を遵守します。	法令などはもちろん客先からの要望に100%応えられることを目指します。	100% 達成	100% 達成	100% 達成
地域貢献活動	(7)私たちは環境経営活動レポートを公表し、地域で環境活動を実施するなど、地域との環境コミュニケーションに積極的に取り組みます。	地域に根差した企業となるべく、さまざまな地域貢献活動を行います。	1件以上	1件以上	1件以上

## 6. 環境負荷の詳細

## 6. 1 本年度環境活動計画と評価

	項目	目標達成手段	計画案	評価	
1	環境システム見直し	EA21の指針に沿い、見直す	見直し	○	
2	二酸化炭素排出量削減	電灯やOA機器の節電	毎日実施	○	
			昼休み中の消灯、パソコン電源Off	○	
		冷房27度、暖房20度の設定	毎月パトロールで遵守状況確認	△	
		冷暖房機器フィルターを年2回清掃	年2回実施	○	
3	廃棄物の削減	ゴミの分別の周知徹底	可燃物、不燃物などの仕分け	◎	
		資源ごみはリサイクルして活用	コピー紙、新聞紙などはリサイクル	◎	
4	紙使用の削減	電子文書の活用	社内保存用資料は電子化を推進	○	
5	水使用の削減	節水の表示と周知徹底	節水表示で個人の意識向上	◎	
			実用に耐えられる程度に元栓を絞る	◎	
6	環境法令の遵守	マニフェスト発行、法令遵守の見直し	マニフェスト発行、法令遵守の見直し	◎	
7	近隣の環境維持	環境清掃の実施	3月に実施	◎	
8	環境コミュニケーション	環境レポートの配布	当社ホームページに環境活動レポートを掲載	◎	
9	環境事故想定訓練	油などの流出想定訓練	3月に実施	◎	
10	環境データの収集	毎月電力、水、紙などの消費量測定	毎月始めに収集	◎	
11	グリーン購入推進	グリーン購入の推進	全体に占めるグリーン購入割合の向上	△	
12	設計工程の改善	メカ図面不良件数の削減	流出図面不良率5%以下目標	◎	
		装置製作ロスを“ゼロ”にする	電気不具合件数2件/月以内目標	○	
13	組立工程の改善	組立作業の効率化	見積工数作業を80%で実現化	◎	
			加工不良の削減	加工不良率0.75%以下目標	◎
14	製造工程の改善	加工機械の稼働時間向上	ヒューマンエラーの削減	○	
			MCの無人稼働推進	○	
			浮上油除去の自動化装置導入	◎	
			部品加工の設計改善提案提出	◎	
			単品売り上げ拡大	単品売り上げ月150万円以上目標	◎
			客先クレームの削減	加工個数に対するクレーム数0.05%以下	○
15	営業の改善	コピー使用枚数削減	前年実績の3%削減目標	◎	
		見積件数アップ	客先面談を150人以上/月行う	△	

## 6. 2 次年（2019年度）環境活動計画

	項目	目標達成手段	計画案
1	環境システム見直し	EA21の指針に沿い、見直す	見直し
2	二酸化炭素排出量削減	電灯やOA機器の節電	毎日実施
		冷房27度、暖房20度の設定	昼休み中の消灯、パソコン電源Off
		冷暖房機器フィルターを年2回清掃	毎月パトロールで遵守状況確認 年2回実施
3	廃棄物の削減	ゴミの分別の周知徹底	可燃物、不燃物などの仕分け
4	紙使用の削減	資源ごみはリサイクルして活用	コピー紙、新聞紙などはリサイクル
5	水使用の削減	電子文書の活用	社内保存用資料は電子化を推進
6	環境法令の遵守	節水の表示と周知徹底	節水表示で個人の意識向上
7	環境法令の遵守	マニフェスト発行、法令遵守の見直し	マニフェスト発行、法令順守の見直し
8	近隣の環境維持	環境清掃の実施	10月に実施
9	環境コミュニケーション	環境レポートのHP掲載	当社ホームページに環境レポートを掲載
10	環境事故想定訓練	油などの流出想定訓練	10月に実施
11	環境データの収集	毎月電力、水、紙などの消費量測定	毎月始めに収集
12	設計工程の改善	重大不具合図面流出削減	不具合チェックシートの運用と対策の検討
		電気購入品発注ミス削減	不具合が発生した際に会議を行い検討
13	組立工程の改善	部品破損削減	破損事例と対策を記録し再発防止する
13	製造工程の改善	単品部品加工利益率向上	加工方法改善とMC無人稼働拡大
			加工プログラム入力時間削減
		加工不良の低減	段取り替え、取付・取外し、寸法測定の改善 準備作業と運搬作業の改善 ヒューマンエラーの削減と標準化 クレーム流出再発防止の徹底遵守
14	営業の改善	売上総利益(粗利率)向上	1M以上は業者へ見積
			リピート品見積り増の改善
			見積件数増加
			取引先担当者との面談増加

## 7. 環境活動記録

### 7. 1 近隣清掃活動



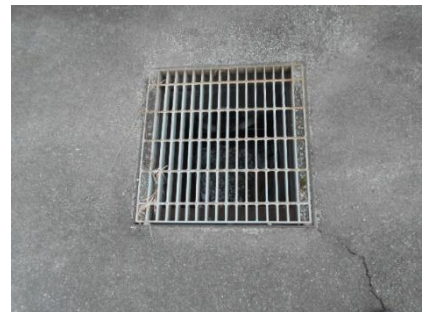
### 7. 2 廃油流出事故訓練



① ドラム缶を倒す

② 吸着マットを敷く

③ 流出防止板を挿入する



④ 土嚢を投入

⑤ 水量追加

⑥ 側溝の流出確認



⑦ 油升内の廃油汲み取り

⑧ 訓練の総評

### 7. 3 設計開発部 メカ設計課活動記録

メカ設計課では、受注案件ごとの【図面不具合による損失】を削減することを目的とし活動を行っております。本年度より『作図ミス』と『干渉』を重大不具合と位置付け、比較的に発生割合が大きい『寸法問合わせ』と共に活動の重点項目としました。その活動実績を報告します。

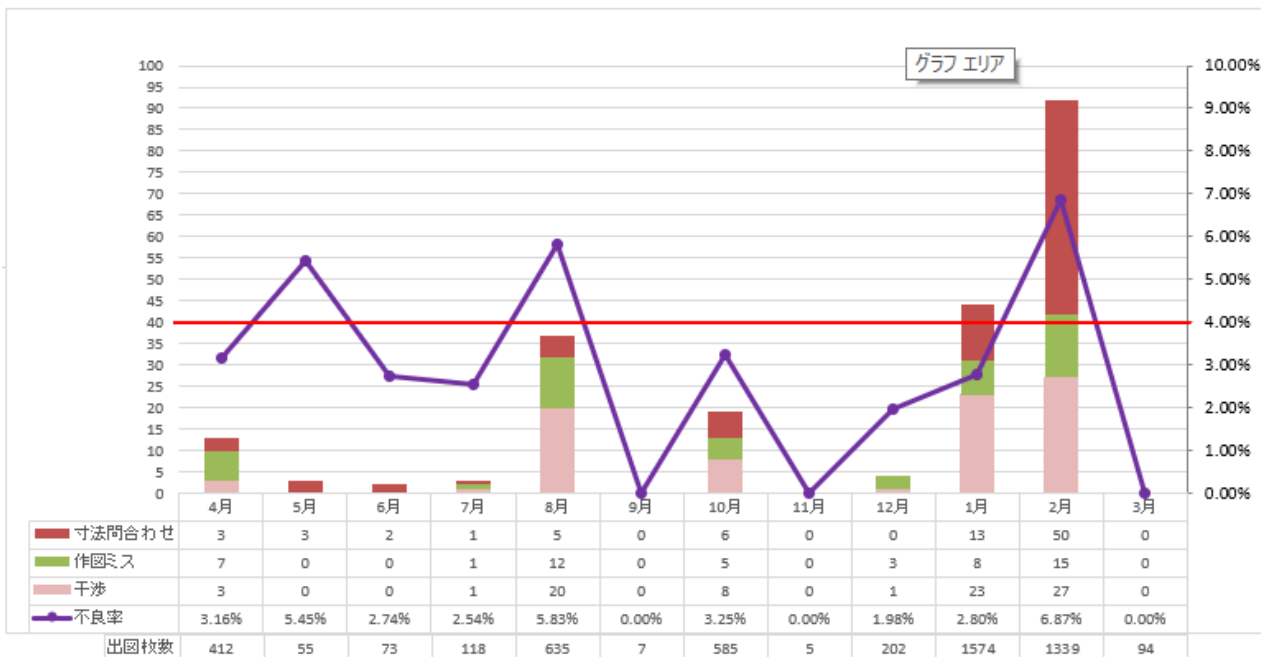
- 1) 活動テーマ [重大不具合図面流出削減]
- 2) 活動目標 [流出不良率4%以下 (リピート案件、外注設計は含まず)]
- 3) 活動内容
  - ① 月毎の検収完了案件における不良率の調査
  - ② 重大不具合発生における損失金額の調査
  - ③ 不具合内容の精査と、再発防止策としての課内情報共有化
  - ④ 設計知識向上に向けてのセミナー、展示会への参加

#### 4) 年間活動結果

##### ① 不良率と損失金額

月毎に検収完了案件について、出図枚数と不具合の内容を精査し集計しました。

また、重大不具合として位置付けました『作図ミス』と『干渉』について損失金額を調査しました。



不良率の年間統計

	出図枚数	寸法 問合わせ	作図ミス	干渉	穴径間違い	数量訂正	出図漏れ	その他	不良率	損失金額
4月	412	3	7	3	0	1	1	4	3.16%	¥67,290
5月	55	3	0	0	0	0	0	0	5.45%	¥0
6月	73	2	0	0	0	0	0	0	2.74%	¥0
7月	118	1	1	1	0	0	0	0	2.54%	¥16,400
8月	635	5	12	20	0	0	0	6	5.83%	¥504,032
9月	7	0	0	0	0	0	0	0	0.00%	¥0
10月	585	6	5	8	1	2	0	1	3.25%	¥76,350
11月	5	0	0	0	0	0	0	0	0.00%	¥0
12月	202	0	3	1	2	0	0	0	1.98%	¥25,700
1月	1574	13	8	23	0	5	4	12	2.80%	¥227,000
2月	1339	50	15	27	2	16	1	5	6.87%	¥337,495
3月	94	0	0	0	0	0	0	0	0.00%	¥0
計	5099	83	51	83	5	24	6	28	4.25%	¥1,254,267

## 出図枚数と不具合詳細、および損失金額

2018年度の年間実績ですが、【総出図枚数：5099枚】に対して【不良率：4.25%】と目標の4%以下には至らない結果となりました。

重大不具合と位置付けしました『作図ミス』と『干渉』ですが、昨年度と同様に高い割合を占めており、『作図ミス』と『干渉』を削減することで損失金額も大きく削減することができると思います。

## ① 再発防止策としての課内情報共有化

不具合情報の課内共有化について、現在検討中となります。

## ② 設計知識向上に向けてのセミナー、展示会への参加

2018年度の展示会への参加は【4回/年】と四半期毎に1回という結果となりました。

## ☆ 2019年度の活動について

## (1) 活動テーマ 【重大不具合図面流出削減】

## (2) 活動目標 【流出不良率3.9%以下（リピート案件、外注設計は含まず）】

## (3) 今後の活動内容

- ① 月毎の検収完了案件における不良率の調査
- ② 重大不具合発生における損失金額の調査
- ③ 不具合詳細記入シートの運用方法を再検討し、本活動の集計業務効率化を図る。
- ④ 出図前のセルフチェックにおいて【出図前確認シート】の確認を徹底する。
- ⑤ 不具合情報の課内共有化について、運用方法の確立を目指す。
- ⑥ 設計知識向上に向けてのセミナー、展示会への参加

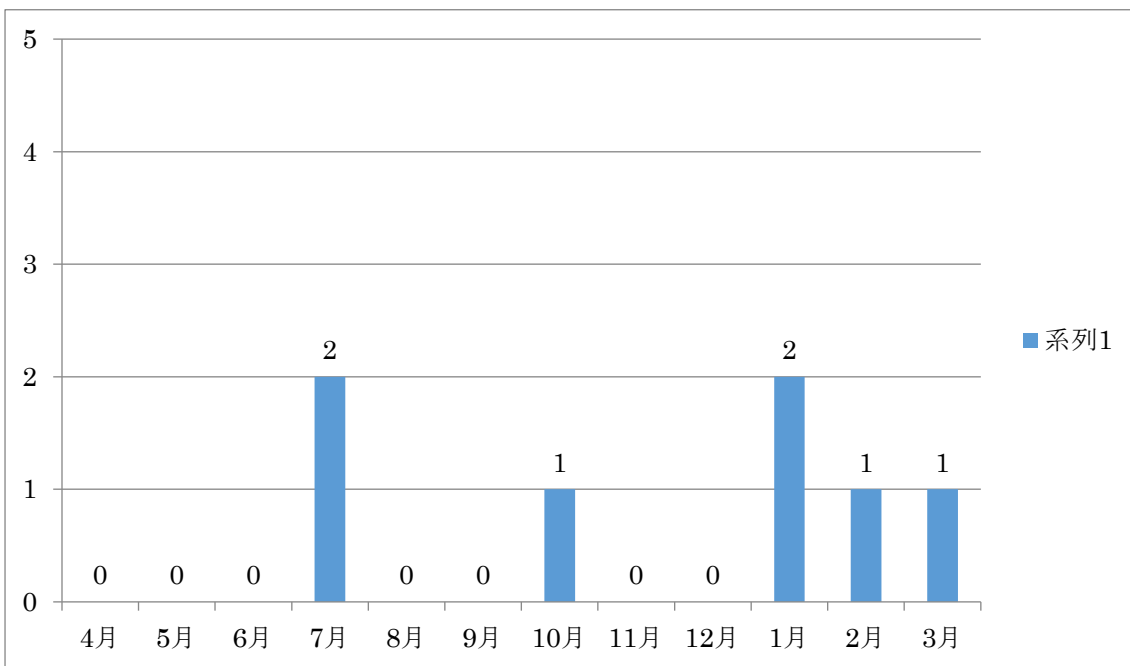


#### 7. 4 設計開発部 電気・ソフト課活動記録

電気・ソフト課では装置案件に対しての部材発注を行う際に生じる部材発注ミス削減を目標に活動を行っています。

- 1) 活動目標 「電気購入品部材発注ミス削減」
- 2) 活動内容
  - ①装置仕様書作成
  - ②装置案件毎の不具合シート作成（部材発注ミスを含みます）
  - ③ 装置検査表作成

1年間の部材発注ミス件数



上記のグラフの通り年間部材発注ミス件数が7件となりました。  
今年度の目標は7件以下でしたので、目標を達成する事が出来ました。

## 7. 5 設備技術部 組立課活動記録

1) 活動テーマ：組立起因による部品破損の削減

2) 活動目標：発生件数 4 件以下/月

3) 活動目的

組立起因による、部品の破損、紛失を削減する事により、不要な再製作や損害を削減する。また、発生事例を報告書として残す事により教育資料での活用、再発防止を目的とする。

4) 具体的な対策と内容

①発生件数の把握（環境委員）

組立起因で発生した部品の破損、紛失を把握する

②発生件数、発生金額の把握（環境委員）

発生した事例の修復にいくらの金額がかかったのか把握する

③発生事例の報告書の作成（環境委員）

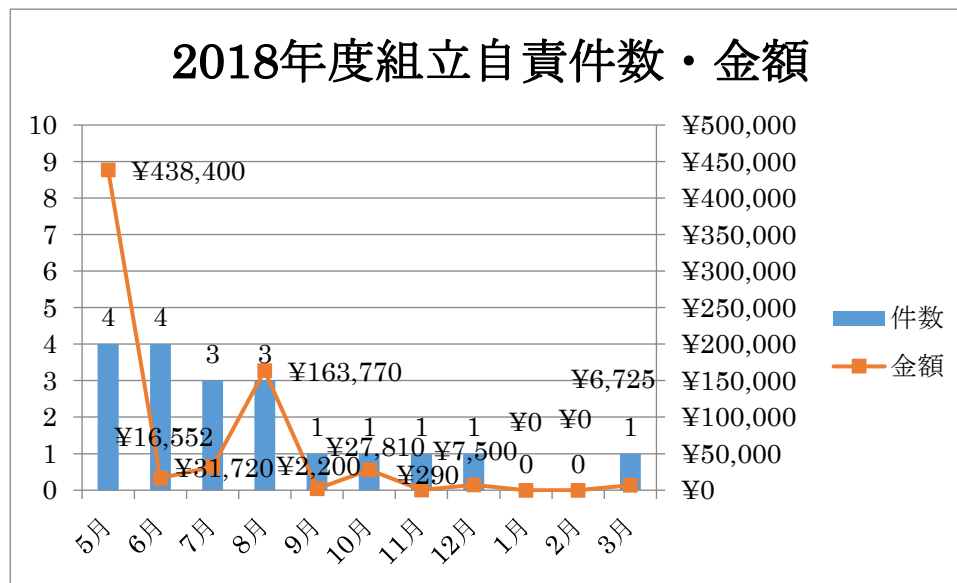
発生した事例を報告書にまとめる事により、風化を防ぐ

④発生事例の標準化を決定する（組立課員）

報告書を元に再発防止の標準化を決定し、共有する

5) 結果

目標 4 件/月以下に対して平均 1.7 件/月と目標を達成しました



発生事例報告書作成も 23/23 件作成済み

6) 次年度への課題とその対策

活動テーマ：組立起因による部品破損の削減

活動目標：組立起因による部品破損件数 3 件以下

活動内容：部品の破損による損害を無くす

具体的な内容：

- ・ 発生事例の把握
- ・ 発生事例の発生金額把握
- ・ 発生事例の報告書作成
- ・ 報告書を元に再発防止と標準化を話合う。

## 7. 6 製造部 製造課活動記録

活動テーマ：加工不良の低減、客先クレームの低減

活動目標：加工不良「0.6%/月」以下、客先クレーム「16件/年間」以下

活動目的：加工不良による不要な再製作を無くし、損失削減を図る

### 1) 具体的な対策と内容

#### ①発生件数の調査

毎月「加工不具合発生記録」を提出し集計する

#### ②集計結果の分析

加工不良内容、損失金額をまとめる

#### ③集計結果、不適合品報告書の回覧

客先クレーム発生時「不適合品報告書」を作成し、2) の集計結果と合わせて回覧し再発防止を図る

### 2) 結果

加工不良「0.6%/月」以下に対し 0.48%で達成

客先クレーム「16件/年間」以下に対し 16件で達成

### 3) 次年度への課題とその対策

活動テーマ：加工不良の低減、客先クレームの低減

活動目標：加工不良「0.59%/月」以下、客先クレーム「15件/年間」以下

活動内容

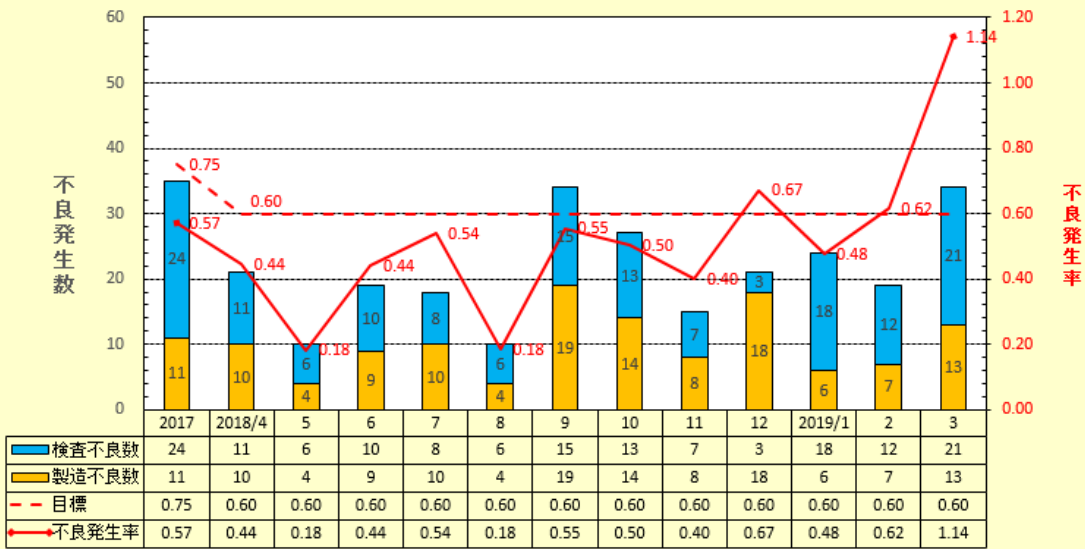
#### ① 加工不良発生件数の調査

#### ② 加工不良内容、損失金額の集計

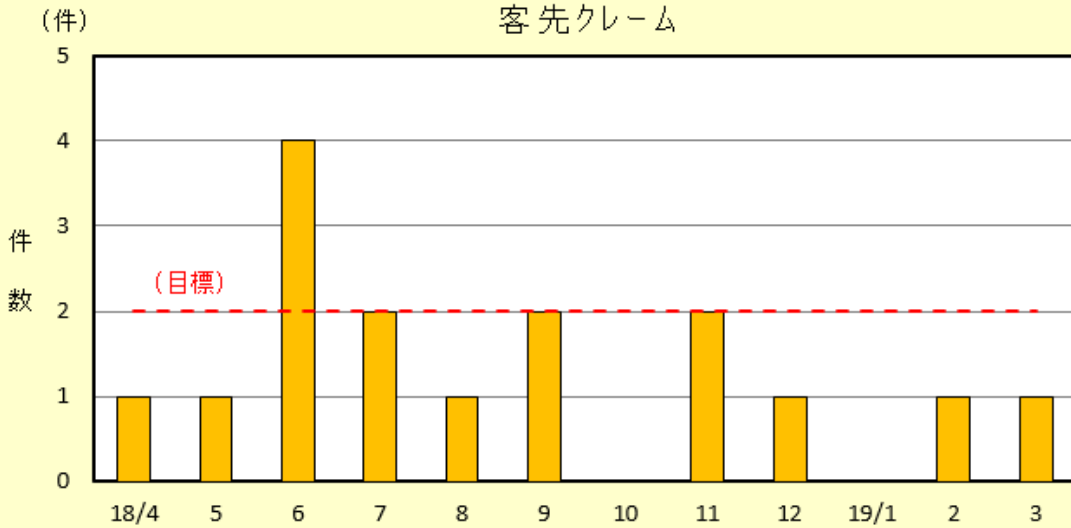
#### ③ 客先クレーム発生時「不適合品報告書」を作成

#### ④ ②③の情報共有し再発防止を図る

## 不良品発生推移



## 客先クレーム



## 7. 7 製造部 生産管理課活動記録

### 7. 6. 1 コピー用紙削減

- 1) 活動テーマ：注文書（紙）発行枚数の削減
- 2) 活動目標：発注書発行比率(プリントアウト)35%以下
- 3) 活動内容：

- ①発注書をそのまま FAX を送信
- ②メールにて注文書を送付
- ③発注書の控えが必要な時は「Nアップ」機能を使用

- 4) 活動結果：発注書発行状況

発注書総枚数：3336 枚（平均 278 枚）

プリントアウト：678 枚(平均 57 枚・21%)

PDF 変換：2515 枚(平均 210 枚・75%)

N アップ：147 枚(平均 12 枚・4%)



2017年度プリントアウト発行比率が「平均 39%」だったのに対して 2018年度は「平均 21%」となり目標 35%以下達成。及び 2017年度を上回る結果となった。

### 7. 6. 2 予算状況の周知

- 1) 活動テーマ：装置予算状況の報告
- 2) 活動目標：装置予算状況の報告（第 2・第 4 週の報告 報告実施 75%以上）
- 3) 活動内容：

- ①装置予算状況の把握
- ②日報集計の徹底
- ③報告資料の見やすさの改善

- 4) 活動結果：19/24 回（79%）報告実施

多忙な時に実績報告を怠る事があるため注意する。

日報回収を合同会議にて連絡する。

### 7. 6. 3 受注拡大

- 1) 活動テーマ：加工外注先の拡大
- 2) 活動目標：加工外注先面談（毎月新規：1社 既存外注先：5社）
- 3) 活動内容：加工外注先を増やし受注量を増やす。
- 4) 活動結果：新規：12/12社（100%） 既存：95/60社（158%）  
訪問待ちの面談を減らし積極的に新規開拓を行う必要がある。

## 7. 8 営業部 営業課活動記録

1) 長期目標：面談数、見積件数を増やす。

ねらい：。面談数,見積件数を増やすことによって売り上げを増やす。

### 【具体的対策】

売上を増やすために、月あたり面談数 100 人/ひとりあたり、月あたり見積件数 100 件/1 人を目標に掲げる。一回の訪問にて複数の人に会うように心がける。納品の際にも案件がないか確認する。

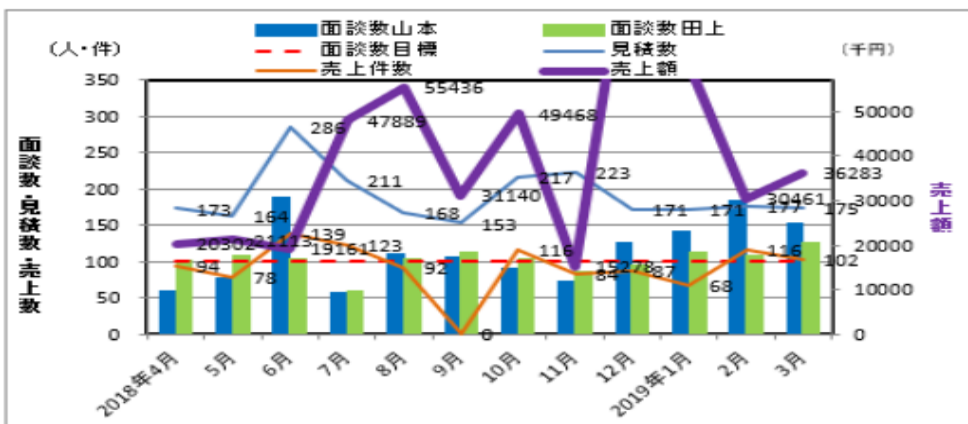
### 【結果】

目標:面談数 200 件以上/月平均に対し、実績：222 件

見積件数 200 件以上/月平均に対し,実績 197 件となった。

### 【今後の対策】

一回の訪問にて複数の人と会うように心がける。見積にも工数がかかるので,件数を増やすだけでなく、取りに行く価格を考えて見積を行い受注率を上げられるようにする。



2) 長期目標：粗利率 20.0%以上

ねらい：粗利率を意識することによって効率の良い業務を行う

### 【具体的対策】

赤字を防ぐために材料のサイズが大きい場合は必ず見積を取る。

定期的に粗利率をチェックする。

工数を意識することによって時間あたりの業務量を増やす。

### 【結果】

23.38%にて目標達成。

### 【今後の対策】

来期も引き続き、特に大きい部品に注意してミスを減らし粗利率の向上を目指す。

また粗利率だけでなく売上金額も増やせるよう、考えて見積を行うように心がける。



## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果

関連法規の遵守状況を 10 月にチェックしました。結果問題はありません。

なお、関係機関や近隣住民の方からの法律違反の訴え、苦情や訴訟等は発生していません。産業廃棄物については、廃棄時にマニフェストを完全に発行しています。

環境関連法令等の遵守チェックリスト

最新情報の確認：<http://law.e-gov.go.jp/>

法令等の名称		該当条項	適用される要求事項	アラオの遵守状況	
大気	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律		特定製品（業務用エアコン、冷蔵庫等）の整備・廃棄時のフロン回収・破壊	社内エアコンの定期点検、および簡易点検実施中	○
排水	水質汚濁防止法 排水基準を定める省令	第 2 条	特定施設	該当施設なし (上水は生活用水のみ使用)	—
排水	下水道法	第 10 条	下水道への放流	該当施設なし (上水は生活用水のみ使用)	—
		第 12 条	除外施設の設置		
悪臭	悪臭防止法	第 7 条	規制基準の遵守義務	該当施設なし	—
		第 10 条	事故時の措置と報告		
		第 11 条	自治体による測定		
騒音	騒音規制法	第 5 条	特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を遵守	騒音は規定値内	○
		第 6 条	特定施設（施工令別表 1）の届出	コンプレッサー 11Kw 2 台 エアコン室外機 7.5Kw 13 台	○
		第 8 条	特定施設の変更届（騒音が増加しない場合はこの限りではない）	(届出済)	○
振動	振動規制法	第 5 条	特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を遵守	コンプレッサー 11Kw 2 台 (届出済)	○
		第 6 条	特定施設（施工令別表 1）の届出		○
廃棄物・リサイクル	循環型社会形成推進基本法	第 11 条	事業者の債務（廃棄物になることの抑制）		○
廃棄物・リサイクル	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	第 7 条	一般廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要	許可証の写しを入手	○
		第 14 条	産業廃棄物処理業者は都道府県知事の許可が必要	許可証の写しを入手	○
		第 15 条	保管基準の遵守（表示、衛生管理等）	廃棄物置き場に表示設置	○
		施行令 8 条	表示：60cm 角以上、種類、氏名、連絡先		○
			許可業者に委託（一般廃棄物は許可証の確認）	紙屑、その他	○
			許可業者に委託（産業廃棄物は契約） 多量排出事業者の削減計画提出・報告 マニフェスト発行・返送遅延時の届出	廃油、廃プラ 廃油、廃プラ	○ ○

			マニフェスト交付状況の報告 もっぱら再生利用を目的の収集・運搬 業者に委託	熊本市へ報告 紙、鉄くず	○ ○
	資源の有効な利用の促進に関する法律 リサイクル法	第4条	パソコンのリサイクル化	パソコン	○
	特定家庭用機器再商品化法	第6条	TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの破棄	TV、冷蔵庫、エアコンの適正 廃棄を実施する	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律	第5条	自動車の所有者の責務 自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務	社用車はリース車のため非 該当	○
化学物質 ・ 危険物	特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）	第2条	特定化学物質 (質量1トン以上、従業員21名以上)	PRTRの対象物質（ステンレスクリーナー）の使用は僅少	○
	毒物及び劇物取締法	第2条	毒物または劇物の取扱	ステンレスクリーナー使用量が僅少	○
危険物	高圧ガス保安法	第9条の2	圧縮アセチレンガス 高圧ガスの消費	溶接用の高圧ガス使用量が僅少	○

## 9. 代表者による全体評価と来年への展望

### 9. 1 取り組みへの評価

環境目標はすべての項目において目標達成率を上回り、基準年との比較においてもすべて目標削減率を下回りました。環境に対しての全社員の目標順守意識が高く維持されていることの実証であり、高く評価します。また、2018年度は前年度に引き続き半導体や自動車産業からの引き合いが拡大し、最高売上、適正利潤の確保が継続達成できました。装置案件の受注が相次ぎ、業務多忙になる中、ともすれば環境意識が損なわれがちになりかねない中、環境目標を維持達成できたことは大変喜ばしく思います。事務局、環境委員、全社員の継続活動努力に感謝します。各部署の環境活動も概ね目標達成ができました。一部未達成の部分は来期に向けてその原因を明確にし、部署全員で改善し、来期は全部署全項目で目標達成を目指しましょう。環境関連法令についても引き続き100%順守してゆきましょう。

### 9. 2 2019年度への展望

現在、熊本県の「熊本地震からの創造的復興」もひと段落の完了が見え、また全世界的な経済活動も一時停滞気味です。弊社においても2019年度は平準な経済状況になる見込みであり、現在の経営資源が100%有効活用できるように、十分な仕事の取り込み、効率的な生産活動、高い品質維持を目指し、適正利潤を得られるよう、適切な業務への取り組みが大切です。今年度も環境適合を基本とし、環境品質を高め、経営との環境の両立を目指します。

## EA21 2018年度（平成30年度） 環境活動レポート

### 株式会社アラオ



住所 : 〒861-4144  
熊本県熊本市南区富合町釈迦堂388



電話 : 096-358-7010



FAX : 096-358-8045

発行日 : 2019年（平成31年）4月10日

発行者 : 環境品質委員会

ご意見、ご感想は弊社のホームページよりお送りください。

<http://www.araotech.jp/>